



一周開放から一転 コース制限の日々…

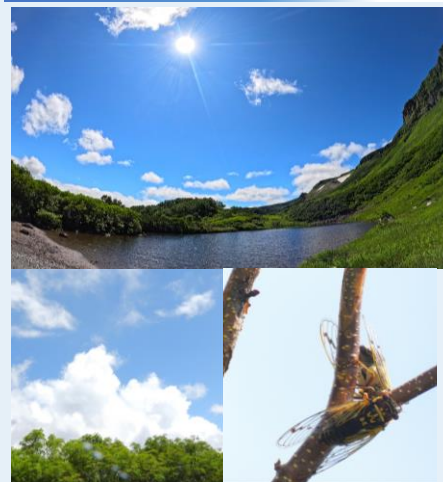
8/1に、約3週間ぶりに全コース開放された沼めぐり登山コース。たくさんの登山者の方がコース1周を楽しまれていましたが、開放から1週間後の8/10に再び制限付きでのコース開放となりました。8/8にセンタースタッフがセンターから500m地点で近距離遭遇（ヒグマとの距離は50mほど）をしたのを皮切りに、8/9には登山者が再びセンターから500m地点とヤンベ沢（いずれも10m前後）で遭遇したことを受けての判断となりました。その後も11日には緑沼（10m）、13日には湯の沼（15m）、16日には再び緑沼（20m弱）でスタッフが近距離遭遇をしています。ヒグマの出没状況によってコースに制限をかける日々です。状況に応じて歩ける範囲は変わってしまいますが、沼めぐりコースの周りにヒグマが生息できる豊かな自然が広がっている証拠でもあります。樹林内でのヒグマとの遭遇や痕跡の発見が増えるのと呼応するように、高根ヶ原斜面に確認できるヒグマの数はどんどんと少なくなってきました。1日中観察しても、斜面に姿を現さない日も少なくありません。行動範囲が斜面から樹林帯へ移ったのか、はたまた斜面にいたヒグマ達とは別のヒグマ達が樹林内で暮らしているのか。

まだまだヒグマの活動が活発な季節です。入山前はしっかりとレクチャーを受けて、沼巡り登山コースを歩きましょう。



閉鎖されることが多かった緑沼以降【左】と大学沼以降【右】

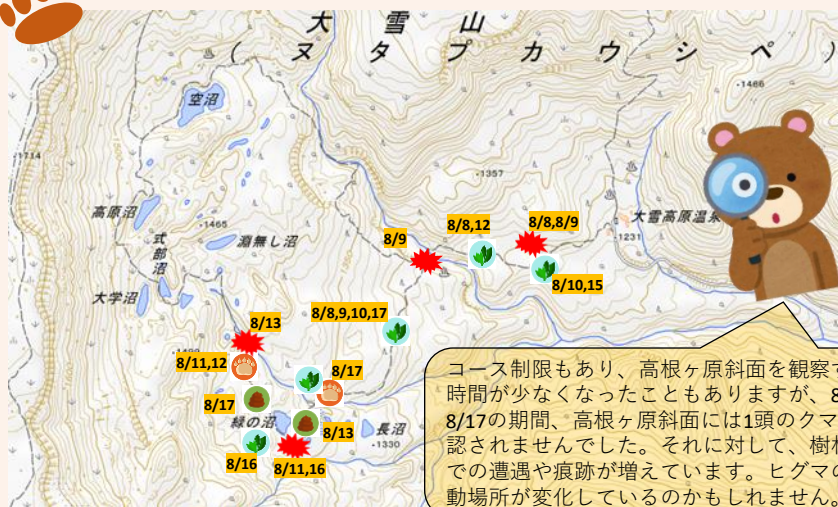
夏真っ盛り!! 眩しい沼めぐり登山コース



【上】大学沼。青空と強烈な日差し。
【左】夏らしい雲。【右】盛んに鳴いているセミ。

沼めぐり登山コースにも夏が来ました。8月中旬となり朝からセミの声があたりに響いています。巡視をしても7月までは違う日差しの強さや、空の青さ、雲の形から確かに夏を感じる毎日です。緑沼はますます深い緑色になり、遮るものが何もない大学沼では青空と日差しを体全体で味わうことができます。天気の良い日は空も沼も山も、夏らしい輪郭のくっきりした鮮やかな景色を楽しめるでしょう。今年のお盆休みは山の日（8/11）を含む最大9日間になったという事もあってか、多くの人が訪れてくださいました。夏は海!!という人も多いかも知れませんが、空と沼の青と森の緑、そこに沸き立つ雲の白のコントラストは山でしか味わえませんし、たくさん歩いてかいた汗を、高原温泉で流すという楽しみも沼めぐり登山コースにはあります。山の夏はあっという間に過ぎ去ってしまします。今のうちに存分に満喫したいものです。

ヒグマ確認記録 8/8~8/17



コース制限もあり、高根ヶ原斜面を観察する時間が少なくなったこともありますが、8/8~8/17の期間、高根ヶ原斜面には1頭のクマも確認されませんでした。それに対して、樹林内での遭遇や痕跡が増えています。ヒグマの活動場所が変化しているのかもしれません。

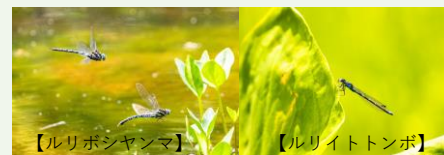
個体 食痕 クマ糞 足跡 近距離遭遇

トンボがいっぱい



【オニヤンマ】

緑沼、バショウ沼をはじめ沼めぐり登山コース内の沼地では数多くのトンボが見られます。オニヤンマやルリボシヤンマ、ギンヤンマなど大・中型のヤンマ科、シオカラトンボやカオジロトンボなどのトンボ科の仲間、ルリイトトンボなどのイトトンボ科のトンボが飛び交い、寒冷地系のトンボが多く見られ本州では珍しい種がみられることも。そんなトンボ達の一生は種により様々。幼齢のまま何度か冬を越す種もあれば、数か月間の幼虫期間を経て1年でその命を終えるものも...それぞれの一生を懸命に生きるトンボ達の命の物語が沼めぐりの風景に広がっています。



【ルリボシヤンマ】

【ルリイトトンボ】

夏の終わりに



エゾオヤマリンドウ

春の雪解け時期からコースを賑わせてきた花達も随分と顔触れが変わってきました。

最近よく目につくのが、エゾオヤマリンドウ。土俵沼や緑沼周辺の木道沿いな特に多く目にします。パッと見、花弁が開ききる状態にはならず、花蜜を求めてその狭い入口をいよいよいよいよとこじ開けるマルハナバチの仲間の姿に癒されます。もう1種、沢筋などでよく見かけるのがダイセツトリカブト。雅楽奏者が被る「烏兜」という頭巾にちなんだ名の植物は、日本でもっとも有毒な植物の一つ。やはり美しい花には毒があるのですね...

登山道沿いの緑地や沢筋に映える濃い青色のこの植物達が増えると、秋の訪れを近くに感じます。



ダイセツトリカブト

大雪山国立公園高原温泉 沼めぐり登山コース

2024年 第6号 (8月17日)
発行：ヒグマ情報センター

ヒグマの出没状況でコースの開放状況は変わります。最新の情報はホームページやSNSをご確認ください。

今年初の
センター30℃!!

エゾサンショウウオの幼体
@エゾ沼



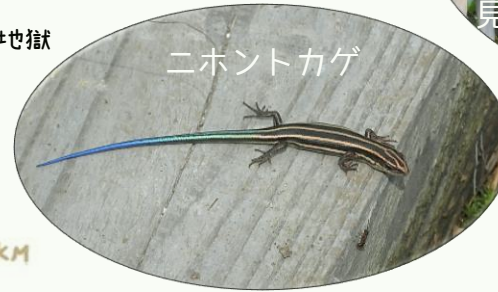
ヒグマの足跡
@空沼



見返り親子@滝見沼



ニホントカゲ



のぞき地獄

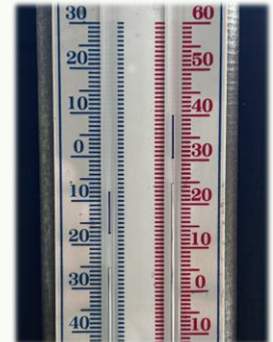
高原温泉
ヒグマ情報センター



心地いい木漏れ日



センター裏から見える
星空



大学沼

式部沼

エゾ沼

湯の沼

鴨沼

緑沼
土俵沼

ショウ沼

コエゾゼミ



夏の雲



緑沼



高原ピーク方面



大学沼



巡視員が緑沼で
遭遇したヒグマ。
立って周りの様子を
伺っていたようです。

高原温泉沼めぐり登山コースの
夏の生き物・景色たち